

老健だより

第345号

発行

山形県酒田市本楯字前田

127-2

医療法人 宏友会

老人保健施設 うらら

TEL0234(28)3131

発行責任者 矢島 恭一

# うららか

世代を超えてディスカッション  
想い馳せるこれからの食支援

AI分析で実現、  
“美味しいひと時”の尺度を身近に



食事摂取量を測定するアプリ「めしパシャ」を開発する立命館大学の太田晶景さん、平田康介さんがうららに来所されました。北前船ならぬ「食支援」を通じて関西の方々と繋がれた事は何とも感慨深いものがあります。今回は実際に提供している食事、その食形態や食事の様子を視察頂き、現場ニーズを伝えながらディスカッションを行いました。より精度を高めるために実地検証を進める段階と話す若い二人のビジョンは食支援の新しい形を見据えているようです。近い将来、現場職員の心強い味方になってくれる事を期待せんにはいられません。完成が楽しみですね👍。

この度は有意義な機会、出会いをありがとうございました。（矢島 慎也）



お二人にお話をうかがいました😊。

・今回の酒田訪問の経緯について

KANSAI STUDENTS PITCH Prix2024で最優秀賞・オーディエンス賞を頂いてから各方面からお問い合わせを頂戴していました。当初、老健から問い合わせが来るとは思っていなかったんです。特に池田さんははじめうららの皆さんの熱量がすごかったので、というは冗談で(笑)。今回は貴重な機会を頂き、ありがとうございます。

・「めしパシャ」について

食事・栄養が大切という話は聞きますが、摂取量の評価は感覚で行われている事がが多いことが分かっています。食事前・後の写真から割合をAIで判断し、摂取量を測定します。将来的には栄養素まで把握出来るようにしたいと思っています。メリットとして①データの信憑性の向上、②効率化を図り、空いた時間で関わりの場面等に充てて頂けると思います。

・「今後の展望」について

近く、会社を立ち上げる予定です。7月から施設に協力を仰ぎながら、実証実験を通じてデータを集めていきたいと思います。ご期待下さい！



太田 晶景さん 平田 康介さん

お二人と一緒にパシャっと。



コンテスト  
の様子は  
こちらから

# お知らせ

支援相談員より

お知らせ

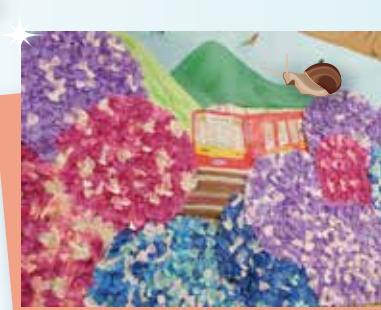


## 介護保険負担限度額認定証をお持ちの方へ

低所得の方の施設・ショートステイの利用が困難にならないよう、所得状況に応じて食費・居住費の自己負担上限額が定められています。既にお持ちの方は、期日内にお忘れなく更新手続きをお願い致します。

(支援相談員)

池田 周史・斎藤 聖子)



通所リハビリ傑作品！  
お花が咲いて満開の  
あじさいを作成しました！



あじさい棟、運動レクリエーション！  
天気が良いので屋外にて。  
新聞紙を使って身体機能UP！

リハビリ頑張って笑顔で退所の日。  
引き続きリハビリ頑張って下さい！



本楯地区大運動会  
職員、利用者一緒に楽しみました！

- ドレッシング
- マヨネーズ 大さじ 1.5
- すり白ゴマ 大さじ 1.5
- しょうゆ 大さじ 1

材料(1人分)		
ゴーヤ	1本	
塩	小さじ1	
ツナ缶		
水煮コーン缶	6040 g	g

## ゴーヤとコーンの ツナマヨ和え

### 作り方

- ①ゴーヤは縦半分に切り、スプレーにて種とワタを取り除き幅2~3mmの薄切りにし、塩でもんで5分程置き、出てきた水分を絞る。
- ②たっぷりのお湯でゴーヤを1分程ゆで、水にさらしザルに上げる。
- ③絞つてしつかり水気をきる。
- ④ボウルに●ドレッシングの材料を入れて混ぜ合わせる。
- ⑤ゴーヤ、ツナ、水煮コーンを加えて和え、器に盛つて完成！

(斎藤 彩)

## うらら栄養ケアルーム

旬の味覚



ホンビナガヤラグレ

日差しが強く夏本番の様な気温の日も多くなっています。今回はこれから旬を迎える【夏野菜】についてです！

●夏野菜の色→鮮やかな色が特徴的。

トマトの赤、胡瓜やオクラの緑、トウモロコシの黄色、なすの紫など。

●夏野菜の味→とにかく水分たっぷり！太陽の日差しをいっぱい浴びているので糖度も高く味が濃い。生で食べられるものが多いのも特徴。

●夏野菜の栄養→ミネラルが沢山含まれている為、夏バテ予防に効果的！



ツナとコーンでマイルド！

# うららの専門職さ聞いてみよっ。

第39回

介護福祉士 鈴木 寛子さん

## 個人に合わせた排せつケアを

家庭内における介護の場面で排泄の困り事はありませんか？心身の状態や病気によっても悩みや課題は様々です。

「おむつはパンツ」「おむつはトイレ」といった個々の受け止め方によって支援の方法は変わってきます。また、尿意や便意はご本人の生活意欲にもつながる重要な生理現象です。トイレで排泄できるようリハビリをしたり、自宅環境を整えたり、皮膚トラブルの予防のためにも汚れた状態で過ごす時間を少なくするなど、個人の身体状態や排泄パターンにあつたケアが大切ですね。

介護される方がどのような排泄方法で過ごすことが最良か、介護を提供する側の価値観を押し付けずにケアしていきたいものです。



## 私を動かすあの「パンツ」

理学療法士

佐藤 真紀さん



私の不安な気持ちを落ち着けてくれる言葉は「ありがとうございます」の一言です。私の仕事はいつも手探りの状態です。相手に受け入れられるか気にかけながらリハビリを行うことが多いため、最後に「ありがとう」と返してもらえるだけで、ホッとします。またかんばろうと言う気持ちになれるのです。私も感謝の気持ちを忘れずに取り組んでいこうと思っています。



## 【定期的な評価】を深掘り！

トルトの評価用紙の裏面を見ると、これまでの計測の経過、更に自らの努力の結果が一目でわかるような表記になっています。

通所リハビリで3～4ヶ月に一度の頻度で計測を実施し、頑張りの振り返りを行っています。パソコンを見ながら過去の歩き方を比較したり、また評価用紙を見ながら、今後どのような運動を継続していくべきか歩行トレーニングの提案や転倒しないように注意すべきところを確認し合い、リハビリを継続して行う動機に繋がるようにしています。

(岸 高之)

## 職員募集中です！

○募集職種：介護職員、看護師（准看可）、理学療法士、作業療法士、

社会福祉士、支援相談員、運転手

◆お問合わせ◆ 上田診療所 村上  
TEL 0234(2)3307

医療法人 宏友会

ホームページ  
リニューアル  
しました！



↑ QRコードからアクセス！



これまでの結果が一目でわかる！

クイズ 梅雨の季節、カタツムリは何匹？(答えは次頁)

## ほくぶ通信

# 熱中症対策！

## 水分補給について

今回は熱中症対策の一つとして水分補給についてお知らせします。ご存じの方も再度確認してみてください。

### ①「のどが渴かなくても」が大原則！

水分は摄取してから体に浸透するのに20分ほどかかります。また一度に

たくさん水分を摂つても体はうまく吸収することができません。のどが渴いたと感じていなくともこまめに少しずつ水分を摂ることが大切です。

### ②必要なのは、およそコップ8杯分！

1日中安静に過ごした場合でも、1日の水分摄取の目安は1.2リットル、1回コップ1杯（約150ml）ずつで、8回分です。

### ③夜寝る前、朝目覚めた時も1杯！

睡眠中は無意識にかなりの汗をかいているので寝る前と目覚めの1杯はとても大切です。

お問い合わせ  
&お電話は  
こちらへ

担当 佐藤 ◇ 岸 ◇ 淵田  
TEL(28)2002 ほくぶ

### ④水分補給に適する飲み物

△	○	◎
アルコール飲料と珈琲	水	スポーツドリンクと水

- ・スポーツドリンクは糖分を多く含むので摂り過ぎ注意です。
- ・△の飲み物は、利尿作用で体内から水分を排出してしまいます！

### ⑤大量に汗をかいたときは塩分も！

汗をかくと体の塩分も奪われます。経口補水液、スポーツドリンク、塩タブレットなどで塩分を補いましょう。

高血圧症や心臓腎臓などの病気や服用している薬によって塩分や水分の量が制限される場合もあるのでかかりつけ医に確認しましょう。エアコンをきちんと活用する、外出時は暑さを避けるなど、様々な熱中症予防で暑い夏を乗り切りましょう。

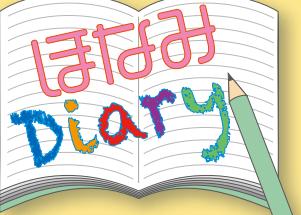
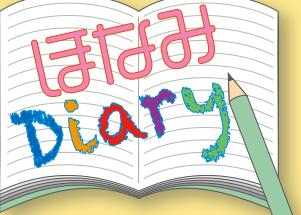
### うらわの認知症カフェ

### 週末カフェ 向日葵

（奥泉 久美子）

●7月14日(日) 14時～ ●場所 酒田市北部農民センター  
●料金 100円（飲み物・お土産がつきます。）  
☆7月は栄養満点な簡単レシピをご紹介。介護のお悩み、心配事などお気軽にご相談下さい。

皆さんは「夏の音」と聞いて何を連想しますか？かつて音楽に触れていたためか音から夏を感じようと更にアンテナを張る今。虫や鳥の放つ周期的な音のリズムに始まり、風情ある花火や風鈴はたまた氷がグラスに当たる音…開放的な夏は音のハーモニーで溢れています。中でも夕刻のヒグラシの声とまな板を叩く包丁の音が私の夏の癒しです。（中澤 麻衣子）



ほなみでも本格的に「トルト」を始めました。3ヶ月に1回、

一人一人の歩行状態をスマートフォンで撮影し、AIで分析します。その結果を基に、うららのリハビリ専門職から助言を

頂きながら、ほなみの利用者に適した体操プログラムを作っていきます。毎日行っているラジオ

体操の時間を利用して行っていくことで、歩行能力の維持につなげたいと考えています。



約5mのAI分析